



九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

■腎細胞がんに対する凍結療法

九州大学病院では腎細胞がんに対する凍結療法を行っています。凍結療法は治療効果が高く、また痛みの少ない体に優しい治療法です。

はじめに

凍結療法の歴史は古く、皮膚のイボの除去などでは一般的に行われています。近年深部臓器の研究も進み、腎細胞がんに対する凍結療法の有効性と安全性が示されています。日本では2011年7月に保険収載となり、本院でも放射線科と泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科が協力し、2014年4月から施行しています。

凍結療法のメカニズム

本院で使用している凍結治療機器の穿刺針の太さは約1.5mm径で、その針は二重構造です。針の先端部は-170度程度、針周囲の腫瘍部分の温度は-20度から-40度程度まで低下することで腫瘍は壊死します。針の先端周囲に作られる氷の玉（アイスボール）は、複数の針を使用することにより、さまざまなサイズに調整が可能で、解凍にはヘリウムガスを使用します。この治療法のガスは針の中を循環するだけで、人体の中には入りません。

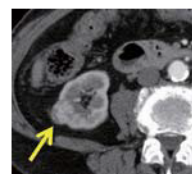
凍結療法の適応

4 cm 以下の腎細胞がんが保険適応となります。特に高齢者や、腎臓が1つしかない、腎門部に腫瘍のある、腎機能が低下している、がんが腎臓内で多発している（von Hippel Lindau 病など）、合併症（心疾患、肺機能低下）などで手術が困難な方々に適しています。

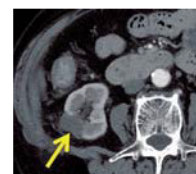
治療までの流れ、手技の実際

まず放射線科あるいは泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科をご受

診ください。外来で必要な検査をした後に、入院して治療します。局所麻酔下で行い、スタッフが患者さんに声をかけながら、CT（コンピューター断層撮影）で病変部を確認し針を注意深く進めていきます。病変部に針が到達したことを確認した後に、凍結と解凍を2回繰り返します。治療中は低温麻酔効果により痛みはほとんどありません。治療時間は合計3時間程度です。入院期間は10日前後になります。



治療前
白く増強される腎細胞がん



治療1か月後
腎細胞がんは黒く描出され、増強されません



治療3か月後
治療部分は吸収され縮小しています

治療成績と合併症

海外のある施設の報告によると134病変に対し凍結療法を施行し、局所制御率は5年97%、疾患特異的5年生存率100%と、良好な結果が得られています。本院でも2014年4月にこの治療を開始して以来、同年12月末までに18人の患者さんに凍結療法を行いました。全例で手技の成功が得られ、現在のところ再発はなく、治療による合併症もほとんどありません。腎臓機能がわずかに低下しますが、程度は約5~10%にとどまり、許容範囲内と考えています。

腎細胞がんに対する凍結療法へのお問い合わせ

◎放射線科

TEL: 092-642-5695 (平日9:00~17:00)

<http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/>

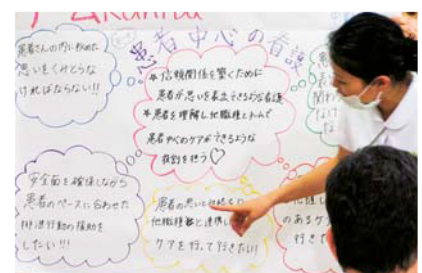
別府病院 看護室

温かく質の高い看護を目指して！

看護室は、内科、外科、整形外科、放射線科の各診療科の患者さんをできるだけ早急に受け入れるために、病床を流動的に運用しています。各先生方にご協力いただき、空床を効率的に活用して、必要な治療の開始がスムーズに行えるように努めています。看護師たちは各種の委員会やWG活動などを通して、病院全体で標準的な看護ケアの提供が行えるように、電子カルテ内の記録を活用しながらケアに必要な情報を共有し、細部に行き届いた「心のコもったケア」を目指しています。

別府地域の急性期一般病院としての役割を果たすために、患者さんの入院前に基本情報を収集しています。入

院中の患者さんの時間を、無駄のない中身の濃いものにできるよう、多職種によるチーム医療を推進し、患者さんの社会的・身体的リスクの把握と早期問題解決を図ることができるよう努力しています。別府温泉の温かさに負けない温もりのある質の高い看護の提供を目標に、年間教育プログラムを企画して、個人の目標達成ができるように段階に応じた研修会を開催し積極的な学習を継続しています。



▶▶▶ 診療科のご案内 ①

心療内科

心療内科では、ストレスが関係した身体の病気(心身症)を中心に診療しています。頭痛、肩こり、下痢、腹痛、呼吸困難感、発熱、疲労・倦怠感、やせ、過食、全身の痛み、不眠などの症状が慢性的に続き、これらの発症や増悪にストレスが関連していると思われる方を対象としています。診療している主な疾患は、機能的胃腸障害、慢性疼痛、摂食障害、糖尿病、気管支ぜんそく、睡眠障害、軽症うつ病、自律神経失調症などです。

治療法は、一般的な内科的治療に加えて心理療法を組み合わせ、心身両面からの総合的な観点で行っています。心理療法には、さまざまな療法を用いています(表)。また、必要に応じて抗不安薬、抗うつ薬、睡眠薬などの向精神薬や漢方薬を使用します。

現代の日本社会においてストレス関連の病気は増加しているため、心療内科は今後ますますその重要性和責任が増してくるものと思われます。

心療内科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/naika/11/index.html>

心理療法の種類	
支持的面接	カウンセリング
自律訓練法	リラクゼーション
認知行動療法	気持ちや考え方を整理してケアをする
芸術療法	絵画や音楽など芸術を通してケアをする
内観療法	静かな部屋で身近な人にしてもらった・してあげた事などを思い出し、自分自身と向き合う
絶食療法	10日間程、食事や外部接触を断ち、心身の症状を改善させる

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

歯内治療科

歯内治療科では、「歯の内部」の専門的な治療を担当しています。具体的には、むし歯になった歯の修復(う蝕治療)・歯の神経(歯髄)や歯の根の治療(歯内治療)・変色歯の治療(ホワイトニング治療)などを行っています。

その中でも歯内治療は、歯を保存するために重要な治療の一つです。むし歯によって大きく破壊された歯でも、金属や陶材を用いて補強することで、もとの歯と同じように永く機能することができます。しかし、そのためには歯を支える土台となる歯の根の治療を正確に行うことが不可欠です。歯科用実体顕微鏡や最新の機器・材料などを用いて、10ミクロン単位の精密で予知性の高い歯内治療を提供し、外科的な歯内治療を要する難治症例にも積極的に取り組んでいます。また、う蝕治療やホワイトニング治療は、「なるべく歯を削らない」「なるべく神経を取らない」「なるべく歯を抜かない」を原則とした治療を行っています。このように当科では、歯をできるだけ保存することを治療理念に、患者さんに寄り添った歯に優しい歯科治療を心掛けています。

歯内治療科：<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/03/index.html>



■連載 メディカルスタッフを紹介します[15]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

歯科技工士

歯科医療チームの中で患者さんの口腔内に装着される補綴物や治療用装置(総義歯、部分床義歯、レジン前冠、金属冠、ブリッジ、ポーセレン、インプラント上部構造、Hotz床、顎関節症用スプリントなど)を製作、修理、加工を中心とした創造的な業務を行っている医療技術者、それが歯科技工士です。

私たちは、患者さんのQOL(生活の質)向上に努めるために、診療室に赴いて患者さんから多様で具体的な要望や希望を直接に伺い、安心・安全で質の高い歯科技工業務サービスを提供するようにしています。

また、近年の医療技術の発達により高度な技術と審美的なニーズが高まる中、それらに対応できるように最新技術の研鑽に日々励んでいます。



エボラ出血熱感染予防のお願い!!

西アフリカ諸国で、これまでになく大流行しているエボラ出血熱は、遠く離れた日本でも大きな関心事となっています。交通機関の発達した現在では、遠方で起こっているこのような感染症がいつ輸入されてもおかしくない状況です。現地でこのエボラ出血熱と闘っている医療従事者は、特に感染リスクが高いとされます。感染源は、患者さんの血液、吐物、便などの体液が最も危険とされ、これらに触れる際には、厳重な予防対策が必要です。福岡地区では、第1種感染症指定医療機関として、福岡東医療センターがあり、患者さんの診療はそちらにお願いすることになります。本院では、「21日以内にギニア・シエラレオネ・リベリアへの滞在歴がある方で、発熱がある場合」には、保健所にご連絡いただいた後、患者さんには東医療センターに行ってくださいにしています。また、皆さんにより広く認識していただくために感染予防のポスターを掲示しています。ただこのような感染症疾患に対しては、一つの病院のみに診療をお願いするだけでなく、私たち公的病院を中心に、地域を挙げての支援体制が重要です。本院も東医療センターが主催する感染対策の訓練に参加し、感染拡大予防に努めています。



感染拡大を防ぐための訓練風景

エボラ出血熱に関する注意 感染対策へのお願い

- 21日以内に西アフリカ等のエボラ出血熱発生国より帰国された方で、(ギニア・シエラレオネ・リベリア等)
- 発熱、倦怠感などの症状がみられる方

上記に該当する方は
院内に入る前に 下記へご連絡の上、
スタッフの指示に従ってください。
連絡先：092-642-5962
(グローバル感染症センター)
または、東保健所(092-645-1078)へ
ご連絡ください。



九州大学馬出吹奏楽部が活躍!

昨年12月24日10階病棟デイルームで開催された「クリスマスミニコンサート～フルーツと金管アンサンブルの夕べ～」。演奏したのは、九州大学馬出吹奏楽部の部員と九州大学職員で編成された12人です。

メンバーは勉強や研究の合間をぬってこの日のために練習を重ね、当日は、馴染みあるクリスマス曲のほか、フルーツ四重奏や金管アンサンブルなど熱い演奏を繰り広げました。最後はみんなで「花は咲く」「きよしこの夜」を歌い、心なごむひと時を過ごしつつ、一日も早い健康回復の願いを込めました。



今後メンバーは、7月の七夕コンサートで演奏予定です。ご期待ください!

九州大学病院の健康食レシピ

日々、入院・外来ともに患者さんの栄養管理を行っている栄養管理室が、彩りもかわいらしく春先にピッタリのレシピをご紹介します。

好き嫌いのある食べ物に挙げられるホウレン草とニンジンですが、ビタミンAを多く含んでいるので、風邪の予防にも効果的。卵豆腐のアレンジでのご馳走も良く、三種類の食感の違いも楽しめます。

3層の卵豆腐



材料 (2人分)

ホウレン草(葉先)	60g(茎とも120g)
ニンジン	1/2本(60g)
ササミ	1と1/2本(60g)
〈卵液〉 卵	2個(100g)
出し汁	大さじ4(60g)
塩	0.4g
薄口醤油	小さじ2弱(10g)
みりん	小さじ1(6g)

作り方

- ①ホウレン草は茹でて水を切り、ミキサーにかけてペースト状にする。
- ②ニンジンは茹でて、ミキサーにかけペースト状にする。
- ③ササミは酒(適宜)をふり、レンジに1分20秒ほどかけて酒蒸し、ミキサーでペースト状にする。
- ④卵液は、出し汁(鰹節2gと水100gで作る)を冷まし、卵をほぐして塩、薄口醤油、みりんと一緒に混ぜ合わせてつくる。
- ⑤④の卵液を3等分にして①②③それぞれに、かたまりがないように混ぜ、卵豆腐液を作る。
- ⑥⑤三種類の卵豆腐液を器に好みのデザインにして3色に盛り付けて、蒸し器で約12分蒸す。
- ⑦容器を揺らして液が揺れなければ完成。

☆ポイント

卵豆腐液を器に盛る時は、お互いが混ざらないよう丁寧にゆっくりと!
蒸す時の強すぎる火加減に注意して!

共同研究による九州大学病院の
献立・レシピ公開中!

<http://karadadeli.com/recipe03/index.html>

外来診療日一覧

- 初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
- 再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
- 電話予約受付時間 14:00-16:00
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00
- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)

今号の一覧表は、3月1日付変更の情報も掲載されています

■外来診療棟 (専門の疾患によって曜日が異なる場合もあります)

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・膵臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	先端工医学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
	産科(再診時のみ) TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月一金 ※	月一金
4階/東第2	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月一金
	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月一金	月一金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月一金 ※	月一金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302, 5996	月一金	月一金
3階/東	ハートセンター TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月一木 ②月一金 ③月・水・木 ※①と②	①月・水 ②月一金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金
	形成外科 TEL 092-642-5510	月・水・金	月・水・金

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・水・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金 ※	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 092-642-5640 子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木 ※	月一金
2階/東	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月一金
	整形外科 TEL 092-642-5504	月・水・金 ※	月一金
1階/西	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 放射線/ヨード治療は要予約	月一金
	総合診療科 TEL 092-642-5300	月一金	月一金

棟	階	診療施設等	電話番号	
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月一金)	092-641-1151	
		助産師外来(月一金)	092-642-5900	
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	092-642-5302	
		リンパ浮腫外来(月・木)	092-642-5409(産) 092-642-5615(泌)	
	2階	造血細胞移植後患者フォローアップ外来(水)	092-642-5244	
		外来化学療法室	092-642-5125	
	北棟	4階	がん相談支援センター・緩和ケア	092-642-5200
			総合案内	092-642-6270
			外来受付	092-642-5138
			入院受付	092-642-5150
			公費相談窓口	092-642-5736
			支払窓口	092-642-5169
			患者相談支援室	092-642-5512
			医療連携センター	092-642-5165
社会福祉相談窓口			092-642-5167	
在宅療養支援室			092-642-5185	
ARO 次世代医療センター			092-642-5858	
睡眠時無呼吸センター(月一金)			092-642-5988	
4階/東	5階	禁煙外来(月一金)	092-642-5300	
		粒子線がん治療外来(火・木)	092-642-5705	
		透析外来(火・水)	092-642-5021	
		トランジショナルケア外来(月)	092-642-5430	
4階/東	4階	デンタル・マキシロフェイシャルセンター(月一金)	092-642-6450	
		周術期口腔ケアセンター(月一金)	092-642-6509	

棟	階	診療施設等	電話番号
北棟	2階	難病情報センター	092-643-1379
		福岡市認知症疾患医療センター	092-643-8292
		周術期支援センター(月一金)	092-642-6235
南棟	4階	腹膜透析外来(火一金)	092-642-5841 092-642-5268
		栄養相談室	092-642-5180
	2階	時間外受付	092-642-5163
		リハビリテーション部受付	092-642-5862

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 092-642-5430	月一金 ※	月一金
	小児外科、成育外科、小腸移植外科 TEL 092-642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 092-642-5421	月一金	金
	小児歯科・スペシャルニーズ歯科 TEL 092-642-6465	月一金	月一金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月一金	月一金
	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月一金	月一金
	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月一金	月一金
	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月一金	月一金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月一金	月一金
	歯周病科 TEL 092-642-6425	月一金	月一金
4階/西	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月一金	月一金
	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月一金	月一金
	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月一金	月一金
	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月一金	月一金
4階/東	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月一金	月一金
	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月一金	月一金

◎赤色の曜日は予約が必要です。

◎再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,240円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめください。

※は紹介状が必要となります。

平成27年3月現在

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進

外来患者さんへ

◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。

「院外処方せん発行」にご協力ください。

◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力ください。